

いい顔、ありがとう

和納第二保育園で（1月23日）



●この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係（☎824-111）内線二一五（へ）ご連絡ください。写真をさしあげます。



阿部清也さん
(27歳・油島)
昭和61年度新潟県農業者友好訪中団員として上海市などをまわる（61年7月23日～8月1日）

新潟県の農業は広大な耕地や豊富な水など恵まれた農業資源を活用し、農業者のたゆまぬ努力に支えられて、米を基幹としたわが国有数の食糧供給基地としての地位を確保してきました。

しかし、最近の農林水産業を取りまく環境は極めて厳しく、特に農業においては米をはじめとした供給過剰基調にあるものと、小麦、大豆、飼料穀物などその多くを輸入に依存しているものとの二重構造に加え、諸外国からの農産物市場の開放要求が一段と強まっています。

県では、このような環境変化に対応しながら地域農業の推進者となる中堅農業者を中華人民共和国に派遣し、体験交流を通じて中国農民の不屈の気概を学び、相互理解と信頼を深め友好・親善を図るため毎年、農業者友好訪中団派遣事業を行っています。昨年七月二十三日から八月一日までの十日間、訪中した訪中団（団員三十一人）の一員として本村から油島の阿部清也さん（二十七歳）が参加しました。今号では、阿部さんから訪中レポートを寄せていただきましたのでご紹介いたします。

夢は数年後の中国へ

■昭和61年度新潟県農業者友好訪中団員

訪中三話——（その①）「日本の穀倉地帯、新潟県農民七十五万人を代表してまいりました。中国では、一ケタも二ケタも及ばなかった。（その②）中国では生水を飲まないように、「腹の調子が悪いので薬を飲んだのにおかしいな？生水で飲んでしまった。薬が効くのかな」。（その③）中国語講座①ニイハオ②インシエイ③ザイチェン、完ぺきであった。しかし、人ごみの道路を歩いていると中国人女性とぶつかってしまいました。「あつ、どうもすみません」①②③、思わず「ジエイシエイ」と言ってしまった。ところ、私たちは、上海、ハルビン、北京の農業を見ました。第一印象は、先

に書いたように広い土地、立派に管理された農地、そして働く農民の姿に感銘を受けました。さすがに私たちの農業とはスケールの違いを見せつけられた感じがしました。現在の中国農業には、まだいくつかの課題もあるようですが、機械、肥料、農薬などの普及で将来は「農業大国」となることは安易に予想できます。そしてこの中国農業を見て、「農業は国の基」を再度痛感した次第です。私は、今回の訪中で多くの皆さんと出



かわいい子供たちが、北国の春を歌って私たちを迎えてくれた（ハルビン市の幼稚園で）

これを経験にもっと勉強し、いま一度、数年後の中国を訪問したい、と考えています。



リズムのついで、気分が爽快

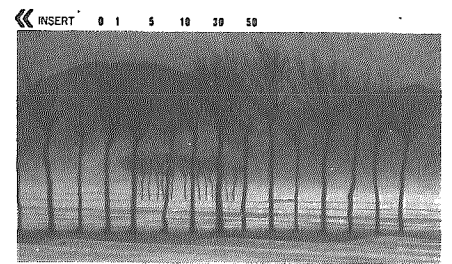
▲チャレンジ！ジャズダンス—まずは基礎練習から……

満員御礼 村民体育館

外の雪もなんのその一連日、村民体育館は室内ゲートボールを楽しむお年寄りで満員御礼。これは昨年、村が購入したゲートボールマットのおかげとか。とかく運動不足になりがちな冬場でもゲームが楽しめるとあって朝早くから体育館はにぎわっています。



▶それ、スパークだ！なやかな音がこだまする体育館



TELEPHONE CARD 50 岩室温泉

秋後のハサ木

岩室温泉テレホンカード

岩室温泉旅館組合青年部では、消えゆくハサ木を使ったテレホンカードを作り、村内のホテル、旅館、村観光協会で売り出しています。このカードは岩室の自然——特にハサ木の美しさを県内外にPRすることが狙いとか。日本写真家協会会員で、新潟市の写真家弓納持福夫さんが本村夏井で撮影した「冬のハサ木」写真を使っています。カードは1,000枚が作られ、50度数で、一枚900円（カード入れ付き）で販売中。ただいま、マニアをはじめ県内外から申し込みが続いています。好評の場合は、第2弾として春のハサ木、夏のハサ木そして秋のハサ木と四季のハサ木のカード作成も計画されています。申し込み・問い合わせは岩室村役場商工観光課（☎824111内線131）へ。

完成間近



旧和納浄水場跡地に建設中の新和納保育園は、暖冬にも助けられ工事が急ピッチ。今、内部工事が進められています。完成は3月。そして開園は4月の予定。桜の開花とともに新しい保育園で元気な園児たちの声が聞えるのももうすぐ——。

▲完成はもうすぐです（和納保育園）